

会報 No.321

キャリア・コンサルタント

2021年（令和3年）11月10日

[発行] キャリア・コンサルタント協同組合

発行責任者：渡邊 健三

〒102-0052 東京都千代田区神田小川町 1-8-3
小川町北ビル 8F

Tel: 03-3256-4167 (代表)

直通電話：営業本部 03-6821-7544

：外国人材受入事業部

03-6826-7789

Fax: 03-3256-4168

E-mail：[会報編集部] henshu@ccco.jp

[事務局] jimukyoku@ccco.jp

[営業本部] eigyo@ccco.jp

URL：http://www.occ.or.jp

http://www.ccco.jp

編集長：田中 努

編集者：平松靖弘 影山和子 大野長壽

中野 忠 福田秀樹

(特別寄稿 第13回)

1. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

2. 中小企業診断士と更新研修 (その2)

顧問 榎木 義彦

3. 健康管理その9 「栄養素を考える、その4 植物繊維」

理事 宮坂 武彦

(こころの落とし文 第3回)

4. 大東亜戦争 ①

田園 中児

5. 事務局だより

事務局長代行 田中 努

一粒万倍

1. コロナ情報

藤田医科大学 名誉教授 船曳 孝彦

第 5 波は理由が説明つかぬまま、収束に向かっています。このまま終息して欲しいところですが、まだまだ安心はできません。やがて第 6 波がやってきます。私は日本で大流行したデルタ株自体の波はほぼ終わったと見ていますが、デルタ株からの変異株がすでに数種類見つかっております。デルタ株以外からの変異株も発見されています。日本では急速に収まって来ていても、世界ではまだまだ拡大していますから、これらからの新たなパンデミックが起きる可能性は大いにあるとあってよいでしょう。

最も重要な第 6 波対策は、海外からの新変異株の流入を何とか阻止することです。業界は観光客激減を回復すべく躍起になっていますが、観光客、日本人帰国者全員の PCR 検査をし、検疫の徹底と分析、そしてその追跡が必要です。

対策の第 2 は新しい株に有効なワクチンを早く作成することです。RNA ワクチンですから可能と思います。実績のない研究に冷たい日本の科学研究費体制を変えて、研究費を注ぎ込んで欲しいと思います。さらに文科省が出した「ワクチン接種を強制しない」という通達はネガティブキャンペーンです。接種率を 100% に近づけるようにするのが国の努力義務だと思います。

対策として、病床確保があります。選挙公約に使いやすいので、いろいろと言われておりますが、要はベッド数ではありません。中身と運営上の改善です。ここまでコロナ患者が減ってくると、病院側としても空床としておく訳にもゆかず、そうかといって入院できずに自宅で亡くなる人を出すことは二度と許されません。患者の流れを調整することがキーとなります。

これだけの世界的大災害ともいえるべき新型コロナウイルスのパンデミックですから、何の対策も心配していなかった 2 年前の社会にそっくり戻ることはないでしょう。ワクチンも必要でしょうし、マスク頻用や大声での会話、三密回避など感染防御も必要でしょうが、インフルエンザ並みとなって、誰もこの束縛から脱したいと思っていることでしょう。

やがて新しく発足する政権が、科学者の意見を尊重する政治をしていただくことに望みをかけています。

(2021 年 10 月 25 日 記)

2. 中小企業診断士と更新研修（その2）

顧問 榎木 義彦

私が「中小企業診断士」の資格を取ろうとしたきっかけは三つあります。

一つ目はもともとサラリーマンを卒業したらサラリーマンではない形の仕事をやりたいと思っていたこと。

二つ目はやや動機不純とも言えますが、勤めていた会社が55歳の第一定年を迎える管理者をスムーズに追い出すために、各種資格試験のための通信教育を推奨し、これに応じた50歳以上の社員にテキスト代等必要経費の半額を出すということで、それにもつられて「中小企業診断士」の通信教育に挑戦することにしました。今ではその区分はなくなりましたが、当時の「中小企業診断士」には、「商業」「工業」の2区分があり、必ずどちらかに決めて受験する必要がありました。私はもともと文系の出であり会社でも管理・営業の仕事をやってきましたので、当然のように「商業」を選択し、約1年間で終了しました。

三つ目の動機として、通信教育を終えたことに加えて職場の2年先輩で「中小企業診断士」を取得した人がいろいろやり取りをしていたこともあり、とにかく試験に挑戦することにしましたが、ここで大失敗をすることになります。

当時私は会社の業務として今でいうIT化推進のプロジェクトリーダーを担当していたこともあり、多少はコンピューターに強いと思っていました。そこに受験をしようとした昭和61年度から「中小企業診断士」の試験に「情報」が加わったので、折角それまで勉強してきた「商業」をやめて「情報」で受けることにしました。「情報」の方が点を取りやすいという浅はかな考えからでしたがそんな甘いことでは済まされず、問題の中にパソコンプログラムの問題が出て万事休すです。試験では1科目40点が合格の最低線（8科目の平均点は60点）ですが、おそらく20点くらいしか取れなかったと思います。

翌年は事情があって受験を見送り、1年あけて63年度には本来受けるつもりになっていた「商業」で再受験し、一次・二次試験を一気に突破して、最終の三次試験（特定の中小企業に対する経営指導実習）に臨みました。この三次試験にも二つの壁があります。一つは指導員の先輩中小企業診断士が指導につくとは言いながら、経営の実態を短時間に把握し経営の評価と課題の指摘を行わなければならないことと10日間連続で行うためサラリーマンにとっては休暇が取りにくいことですが、それまで蓄積し続けた休暇の繰越分を吐き出して何とか対応しました。こうして3次にわたる試験をクリアし、翌年（平成元年）4月に経済産業大臣登録を果たしました。

中小企業診断士」は現在全国に約 27,000 人いますが、これは他の国家資格の税理士（約 76,000 人）、社会保険労務士（約 41,000 人）などと比べても少なめです。

また、この資格は他の国家資格の弁護士、税理士、社会保険労務士等に比べて仕事の範囲が明確でないことが弱点ですが、一方で中小企業の経営に多角的に関与できるという利点があり、やり方によっては経営のかなり多方面に関与できるメリットがあります。そうしたことから、「中小企業診断士」は「国内で唯一のコンサルタント資格」とも言われ、官公庁の入札の際のメンバー等の必要資格になるケースも多く見られます。

CCKのようなコンサルタントの集団には目立たないながらも必ずと言って良いほど必要な資格と言えますが、一時 10 名近くいた資格保有者も現在は私 1 名となりその私も今年の暮れには 85 歳の大台に乗せ先が見えなくなっていることから、組織全体の問題として組合員の中から資格挑戦者が出るか、外部より資格者を組合員に引き入れるかを検討する時期になっていると思います。

それでは前回の続きで、「中小企業診断士」更新研修の代替として提出した論文の第 2 題を参考までに掲載します。

課題 2 (3)

昨今、中小企業の重要課題の一つに「事業継承」がありますが、実際にあったケースをもとに、中小企業診断士としてどのような取組が出来るのか、あなたの経験も踏まえて答えて下さい。

課題 2 (3) の解答

コンサルタントとして独立直後（平成 4 年）、顧客開拓に動いたときに支援してくれた会社 2 社の新事業取組方の違い及びその後の結果から中小企業における新事業取組のあり方につき整理した。

一つは私のサラリーマン当時の現地物流拠点としてのご縁があった会社である。この会社は従業員約 20 名の四国の倉庫会社で、典型的な地場企業の同族会社である。社長と同年齢であったこともあって独立時にいろいろ相談にのってもらっただけでなく「自社の経営アドバイザーになってもらいたい」ということになって新たなご縁が出来た。

平成 5 年ごろからこの社長が折から瀬戸大橋の建設に関連して四国側のたもとに開発された造成地を購入しここに会社を移転すると共に、レストランや衣料品の流通団地を作ることを計画した。

社長はまず新事業の基本計画を東京の中堅コンサルタント会社に依頼すると共に、社内の推進責任者に地元のイベント会社役員をレストラン責任者に大阪の大手ホテルの主任シェフをスカウトしてその任にあたらせた。一方資金については国民金融公庫（日本政策金融公庫）や大阪や地元の銀行から本社の土地建物を担保に瀬戸大橋地区の開発特別枠を借りる約束を進めた。しかし、この計画の推

進にあたっては、一族の会長をはじめ倉庫事業の責任者等の幹部には幹部会等で断片的に報告する程度で、ほとんどが社長の一存で進められた。その理由は、「会社の人材は頭が固くて話にならない。相談する必要もない」ということであった。私はこのプロジェクトに参加を求められたが、主として社長が進めるための実行計画づくりを依頼された。

しかし、この社長の思惑は自らが依頼した新事業の基本計画で期待した補助金の支給が実行されず、スカウトしたレストラン責任者には「お断り」を食らい、流通団地を企画した衣料品の関係者の意向をまとめきれず、最後は金融機関からの「見合わせ」が出て完全に行き詰ってしまった。更に悪いことに、無視し続けて来た同族の役員・従業員からも「ダメ出し」が出ると共に、東京のIT企業に勤めていた社長の息子を後釜に据えることが決議されて、社長の構想は数億円の赤字を残して完全に消滅した。

もう一つの例は、私はサラリーマン当時（空調機器のメーカー）からの知り合いだった空調工事業者（従業員約30名）が手掛けたフロンガス回収事業（フロンガスの有害性が取りざたされ始めた直後に決意）である。

社長はまず自分の腹心の常務取締役をこのプロジェクトとの責任者に据えると共に、主として業界団体へのコンタクト、団体を通じての政府の方針等の情報収集に当らせた。また、空調機からフロンガスを回収する専用機の開発を企画し、その検討を中小企業仲間の機械メーカーと共同で進めることとし、ここには工事部門の若手技術者を据えた。

こうして会社を上げた体制を構築し、業界対応・関連機器の開発を総合的に進めることにより、フロンガス回収事業は機械の販売も含めて同社の主要事業の一つになり、その後10年以上にわたって業績は上向きに推移した。

この2つの事例はいずれも従業員20~30人の企業であるが、社長の考え方と進め方によりこれだけの差が出て来る。これらの事例を整理すると次のようになる。

まず新事業に乗り出そうとした時の取組見方である。失敗するケースとして、「社長の夢や思い付きだけで始める」、「この事業は将来ものになる。という断片的な情報だけを鵜呑みにして飛びつく」、「現在の事業や役員・従業員とのつながりを無視」等があり、今回の事例を見れば、前者はまさに失敗するケースの典型であり、後者が成功したのはこれらを踏まえて進めた結果であると言える。

これ等の事例を通して新事業を行うために必要な要件としては、需要の予測、資金力、金融機関の協力、推進する人員（必要人材の確保、新規採用を含む）、人脈、加えて外部の支援体制等である。

私はそれ以降も中小企業診断士として、また経営コンサルタントとして、いくつかの新事業立ち上げにかかわったが、常に上記の経験と必要要件を踏まえて進めるようにしている。（おわり）

健康管理その9

3. 「栄養素を考える、その4 植物繊維」

理事 宮坂 武彦

1. はじめに

今回は、栄養素を考えるその4として植物繊維について見てみたい。植物繊維とは、「人の消化酵素で分解されない食物」と定義され、水に溶ける水溶性食物繊維と水に溶けない不溶性食物繊維に大別される。食物繊維は、一般に、単糖類が多量に結合した多糖類の仲間ですが、消化されないため、エネルギーとならないとされている。しかし、大腸内にいるある種の細菌が食物繊維を分解し、人体にエネルギーや有用な栄養素を供給されている。

また、食物繊維は、人の健康のためには重要な役割を果たしており、第六の栄養素と言われている。

2. 食物繊維の体内での働き

2-1. 水溶性食物繊維

消化速度の抑制、血糖値の急上昇防止、コレステロールの吸収抑制、血圧の低下などの働きがあり、糖尿病、脂質異常症、高血圧、動脈硬化などの生活習慣病の予防にとって重要な栄養素といえる。

2-2. 不溶性食物繊維

腸の蠕動運動の促進、腸内環境の整備、有害物質の排除などの働きがあり、便の量を増やし排便を促すとされている。

なお、穀物、野菜類、豆類、きのこ類及び海藻類には、水溶性や不溶性の食物繊維を併せ持っており、特に不溶性食物繊維を多く含有しているものは、きくらげ、シイタケ、インゲン豆がある。

また、一日当たりの食物繊維の必要摂取量は20gと言われており、野菜類の量としては350g程度（両手で抱えられる量）で、これを三食に分けて食べることとなる。

3. ファイトケミカル

抗酸化力があることで注目されている食物に含まれている物質にファイトケミカルがある。ファイトケミカルとは、食物が虫・鳥など捕食動物や紫外線から自分の身を守るために作り出された色素や香り、辛み、ネバネバなどの成分のことである。

人は呼吸により酸素を取り入れ、細胞や臓器の活動を促すため取り入れた酸素を熱産生に消費される際に、活性酸素が生ずる。この活性酸素には、スーパーオキシド、一重項酸素、ヒドロキシラジカルがあり、特に、ヒドロキシラジカルの毒性が最も強いとされている。この活性酸素が細胞を傷つけ、老化、がん、しわ、シミ、糖尿病・脂質異常症・動脈硬化などの生活習慣病の原因となる。

また、活性酸素は、ストレス、食品添加物、タバコ、激しい運動、紫外線などによっても増えるものとされている。この活性酸素を消去してくれるのが、ファイトケミカルで、下表に示すように多種のものがある。

分類	種類	含まれている主な食品
ポリフェノール (フラボノイド系)	アントシアニン類	ブルーベリー、ブドウ
	イソフラボン類	大豆
	フラボン類	セロリ、パセリ、ピーマン
	カテキン類	緑茶、果実類、カカオ
	フラボノール類	ブロッコリー、タマネギ
	フラバノン類	柑橘類の果皮
カロテノイド	α -カロテン	ニンジン、カボチャ
	β -カロテン	ニンジン、カボチャ、トマト
	β -クリプトキサントキサンチン	ミカン、ホウレンソウ
	リコピン	トマト、スイカ
	ルテイン	ホウレンソウ、ブロッコリー
	ゼアキサントキサンチン	カボチャ、トウモロコシ、モモ
含硫化合物	イソチオシアネート系	ダイコン、ワサビ
	システインスルホキシド系	タマネギ、キャベツ
その他のファイトケミカル	サポニン	大豆
	テルペン類	ハーブ

なお、上記の他に抗酸化作用のある物質としては、ビタミンA・C・EやコエンザイムQなどがある。

以上

4. 大東亜戦争 ①

田園 中児

昭和15年(1939年)9月27日に「日独伊三国同盟」がベルリンで調印され、昭和16年(1940年)の東京オリンピックを返上した我が国は、昭和16年12月8日に「大東亜戦争」と称し、米国のハワイの真珠湾を奇襲攻撃し、第二次世界大戦へと突入した。これは「大東亜共栄圏を設立してアジアの自立を目指す」という理念と構想をもとに始まった戦争である(ウイキペディア)。この戦争は我が大日本帝国と中華民国・アメリカ・オランダ・オーストラリア等の間に発生した戦争の呼称である。

しかし、昭和20年(1945年)8月15日の「ポツダム宣言」を受入れての無条件降伏で、占領軍のGHQから大東亜戦争を「戦争用語」として使用を禁止され、以後は「太平洋戦争」或いは「第二次世界大戦」と呼ぶようになった。真珠湾攻撃で勝利した我が海軍は「軍艦マーチ」に乗ったラヂオ放送で、大々的に宣伝された。真珠湾以降の海戦では、ミッドウエー海戦を初めとして不利な戦いを強いられた。しかし、「大本営発表」では、成果を大きく扱い、その結果「我が国の損害は軽微なり」と決まり文句であった。しかし、国民は戦況の悪化には気が付いていた。

サイパン島が昭和19年(1944年)7月米国に占領されると、重爆撃機B29(ビー公と言っていた)が夜ごとに、日本の上空に現れ、各地に爆弾のような破棄力のある「焼夷弾」を落としていった。昼間に一機の偵察機が、我が国の高射砲が届かない高度一万メートルを飛行し、その夜になると偵察機と同じ経路で爆撃機が侵入し、めくら攻撃で照明弾と通信を混乱させる銀紙をばらまき、焼夷弾を日本各地に落としていった。人家の無い畑にも点々と大きな穴が開き、爆撃機の進路が分かった。

国民学校二年生の私は偵察機による「警戒警報」と同時に下校の指示が出され、配給された「肝油とコッペパン」を齧りながら、授業がなくなったのを喜び、のんびりと川沿いの道を級友達と帰宅した。偵察機は何もしないことを知っていたのである。

昭和20年(1945年)に入ると、ますます空襲が激しくなり、東京では3月9日夜の大空襲で下町の大半が焼けた。私の住んでいた大森の雪ヶ谷からも、その火災が北東の方向に目撃された。その後、雪ヶ谷にも空襲で焼夷弾が落とされ、防空壕から出て、毛布に水を掛け、それを頭にかぶり避難したこともあった。幸いにも我が家は被害を受けず、朝方になってやっと帰宅することが出来た。それ以来、防空壕は山の斜面に掘られた洞穴に入ることになった。

(つづく)

5. 事務局だより

事務局長代行 田 中 努

●11月7日には早くも「立冬」を迎え、朝には寒さの厳しさを迎えます。10月の気候は変化が激しく夏日があると思えば、氷点下の温度を記録した地域もあり、衣装を変えるのにあたふたしてようです。2か月単位の暦では残り一枚となりました。来年度の予定を記入するカレンダーも揃えましたので、予定が決まっている方は早めの記入をお願いします。

●次期の役員推薦委員会が10月12日の理事会で承認され発足しました。運営会議のメンバーで構成されており座長は渡邊健三理事長です。但し、平松理事長期療養中の為、田中顧問が代わって加わります。

●私儀、田中は高齢になり今期の通常総会と同時に86歳になります。長期療養中で次期の理事を辞退された平松常務理事の業務と合わせて、基本的に宮坂理事が引き継ぐことになりました。それによって第28期の当組合は新しいメンバーで運用されることとなります。ただ「会報」の発行責任者はしばらく続けることになりました。

●コロナ禍で見送られていた行事の内、年末・年始の予定が決まりました。

12月21日（火）忘年会（場所未定）17:00より

12月28日（火）納会（事務局）14:00～16:00

1月6日（木）賀詞交歓会（組合会議室）14:00～16:00

●11月の行事等の予定

9日（火）運営会議（10:00） 輸出力強化Gリーダー会（13:00）

10日（水）営担会議（10:30）、貿易実務配信（12:00）

12日（金）輸出力強化・研修（13:00）

16日（火）理事会（13:00）

24日（水）営担会議（10:30）

●12月の行事等の予定

7日（火）輸出力強化Gリーダー会（13:00）

8日（水）営担会議（10:30）、貿易実務配信（12:00）

9日（木）BCセミナー（経戦2）①（10:00）

10日（金）輸出力強化・研修（13:00）

12日（日）BCセミナー（ロジ2）①（10:00）

13日（月）BCセミナー（MK2）①（10:00）

15日(水) 運営会議 (10:00)
16日(木) BCセミナー(経戦2)② (10:00)
19日(日) BCセミナー(経戦2)① (10:00)
20日(月) BCセミナー(MK2)② (10:00)
21日(火) 理事会(13:00)・忘年会(17:00)
22日(水) 営担会議(10:00)
23日(木) BCセミナー(経戦2)③ (10:00)
25日(土) BCセミナー(ロジ2)② (10:00)
26日(日) BCセミナー(経戦2)② (10:00)
28日(火) 納会(14:00)
12月29日～1月5日 年末年始休日

一粒万倍

▼10月31日に岸田内閣になって初めての衆議院議員の選挙とその開票が行われた。今回の選挙では幾つかの選挙区で野党統一候補が実現された。その結果、一部では政権交代選挙などと言われた。しかしいざ、蓋を開けてみると自由民主党が「絶対安定多数」を獲得し、自公連立政権が続くことになった。その反面、立憲民主党は14議席を減らし、96と100議席割れとなった。日本の政党がほとんど民主党を名乗っている中で立憲民主党が日本共産党との共闘がマイナスになったのではないか？総括が必要との立場から枝野代表も辞任に追い込まれた。当分自民党の政治が続きそうです

▼今回の選挙で所謂大物が与野党問わず、地方区で敗れ、比例区で拾われた議員が多数いた。しかし惜敗率の関係から比例区でも拾われない落選者がいた。午後8時と同時に「当選確実」が打たれたのには感心させられた。それにしても出口調査及び事前調査での正確性は大したものである。

▼日本ではコロナ感染症が下火になって来たようです。入国制限も徐々に緩和され20余名の待機中の技能実習生の入国も12月より始まり、外国人受入事業も活発になって来そうです。

▼9日国会内で、日本維新の会と国民民主党の幹事長と国会対策委員長が初めて会談し、立憲民主党と日本共産党とは一線を画すこととした。両党合わせると衆議院議員は52名となり、今後は中道右派としての活躍が期待されます。それによって憲法の改正も一歩前進する事でしょう。

編集後記：*2回に亘って中小企業診断士について榎木顧問より寄稿を頂きました。有難う御座います。*宮坂理事より「健康管理士一般指導員」としての資格に基づいた「健康管理」も第9回を迎えました。有難う御座います。